

## 就職対策研修事業実施報告書

|         |   |
|---------|---|
| 事業名     | 日本体育大学長野県同窓会就職対策研修会   |
| 実施日時    | 令和3年3月23日(火)  |
| 実施場所    | 現2年生、3年生への資料送付  |
| 参加対象・人数 | 学生66人(3年生29人・2年生37人)  |
| 目的      | 現役の学生(2年生・3年生)に対し、教員採用試験合格者から貴重な体験談を助言してもらおう。また、民間企業への就職についても実際に企業で働いている同窓の方から助言をいただく。  |
| 事業実施の内容 | 長野県の教員採用試験合格者(高校、中学、特別支援)からの採用試験での重要ポイントや学習への取り組み方法、また講師体験での苦労・工夫等をA4版にまとめてもらった。長野県内の民間企業に従事している同窓の方から就職についての適切なアドバイスをいただいた。  |
| 事業実施の成果 | 令和3年度の長野県教員採用試験では、日体出身者の合格者は7名(小学校が2名、中学校が2名、特別支援学校2名、高校1名)という結果で、義務教育での合格者が多く、新設された児童スポーツ教育学部の影響が表れてきたように思います。<br>今年度の研修会は通信方式で行いましたが、新型コロナが収束した折には、例年同様の研修会を開催したいと思っています。本部同窓会様にはご配慮をいただき本当にありがとうございました。<br>今後とも学生に対して、早い段階から進路に対するご指導・ご助言をしていただければと願っています。 |

令和2年度 日本体育大学  
長野県同窓会就職対策研修会

教員採用試験合格への道のり

日本体育大学 体育学科  
H29年度卒 篠原 純人

## 目次

- 1 自己紹介
- 2 一次試験に関して
- 3 二次試験に関して
- 4 採用されるまで
- 5 合格して思うこと

## 1 自己紹介

篠原 純人(25歳)

【所有資格】：中学校教諭一種(保体) 高等学校教諭一種(保体)  
JPSU公認スポーツトレーナー

【経歴】

鉢盛中学校→松本鎌ヶ崎高校→日本体育大学(H29年度卒)  
→塩尻志学館高校・南安曇農業高校(非常勤講師) 1年目  
→安曇野市立堀金中学校 2年目  
→安曇野市立穂高東中学校 3年目(現在)

## 大学時代

- トレーナー研究会(通称トレ研)というトレーナーを育成する団体に所属して、スポーツ医学や解剖学、トレーニング等の基礎知識や技術を身につけながらアスリートのサポートを行っていました。
- 大学2年時に地元の長野県に貢献したいという想いと高校時代からの教師への憧れが強くなり教員を本格的に目指し始めました。教職ゼミ(後藤ゼミ)所属。
- 大学4年時に教員採用試験(高校)を受験するも不合格。非常勤講師としてお声がけいただきました。

## 教員採用試験(中学)について

申し込み 4月中旬から5月初旬ころ

1次試験(筆記、集団面接) 7月上旬

2次試験(実技、個人面接、適性検査)  
8月下旬

## 2 一次試験について

### ◆筆記試験

(専門教養100点 一般教養は60点)

### ◆小論文 800字

(題に対して自らの経験をもとに論じる)

### ◆面接試験 面接官3名 受験者8名程度

(学年会のような形式 題に対して答えを出す)

## ◆筆記試験対策 専門教養編

- 私は昨年まで高校を受験していたため受験対策も1からのスタートでした。以下のような計画を立てて勉強していきましました。

|            |   |
|------------|---|
| 10月下旬 : 2月 | 過去の分析(15年分)<br>体育のどの分野が頻出するか、学習指導要領はどこが空欄になって出題されるかなど徹底的に分析ノートにまとめて来年の予想を立てる  |
| 1月~2月      | 基礎の徹底(スポーツのルールや技の名称等)<br>学習指導要領(保健・体育) 出そうところだけ                               |
| 3月~4月      | 基礎の徹底(スポーツのルールや技の名称等)<br>学習指導要領(保健・体育) 出そうところだけ<br>過去問演習(長野だけでなく同じ問題傾向の他県のもの) |
| 5月~6月下旬    | 基礎の徹底(スポーツのルールや技の名称等)<br>学習指導要領(保健・体育) 出そうところだけ<br>※特に今年出題されそうなところを重点的に行った    |

一般教養は範囲が広すぎるためとにかく専門教養をメインで勉強することをおすすめします。(3年目からは一般教養免除)

今年をはじめて中学の試験を受験しましたが専門教養のボーダーは80点くらいかなと思います。小学校や他教科の免許を持っていない方は加点がないためは85点くらい取っておくと安心です。(もちろん年によって違うとは思いますが...)

## ◆筆記試験対策 小論文編

- 小論文は60分で800字を完成させなければならないため、その場で考えるのではなく、あらかじめ目指したい教員像を文章化しておき本番のお題に合わせて少し文章を変えて書きました。留意したことは経験をもとに具体的に書くこと、生徒が主体的に学び育つためにどうするかということです。小論文の練習は4月頃から週に1回他の先生方に添削していただき少しずつ修正していきました。他の先生方との対話の中で様々なインスピレーションを受け非常に有意義な時間となりました。

## ◆面接試験 集団面接編

- 集団面接の練習は特にしていません。本番で心がけたことは他の方の意見を絶対に否定しないこと、他の方の意見に賛同をしながら自分の意見を話すということ。とにかく自分の意見を話すことよりも他の方との協調性を大切にしました。

## 3 二次試験について

## ◆実技試験

(ハードル走、球技、平均台、剣道、ダンス + 体づくり運動の導入)

## ◆面接試験 面接官3人

(個人面接 + 全体場面指導 + 個別場面指導)

## ◆適性検査

(内田クレペリン、MMPI)

## ◆実技試験

- ハードル走(60cm? 70cm? 2つの高さから選択 かなり低い)
- 球技(バレー、バスケ、サッカーから1つ選択)  
バスケの場合は等間隔に並べられたコーンをジグザグにドリブル + ゴール下からのシュート(入らなかった場合はリバウンド)
- 剣道(基本作法、切り返し)
- 平均台(片足踏み切り跳び上がり→ステップかかえ込み跳び→1/4ターン →片足水平バランス→前方走→伸身跳び下り)記憶が曖昧ですがこんな感じでした  
体育館の床のラインテープ上で行いました
- 体づくり運動の授業の導入
- ダンス(曲を聴いてそれに合う振り付けを考えて踊る)

### ◆実技試験対策

- ハートル走、球技は数回練習をしました。
- 平均台は今年初めて実施された種目だったので対策ができず、基本的な技をすべてできるように繰り返し練習しました。
- 剣道は専門の先生のところへ通い竹刀の扱い方や作法を非常に細かいところまでご指導いただきました。1冊時間をかけました。
- タンスは授業で扱ったダンスの動きを本番直前に曲に合わせて組み合わせました。押さえる上で一緒に生徒と踊っていたのでそれが役に立ちました。
- 体づくりも対策は行っていません。いつも行っている授業のようにやりました。春に行う体力テストの結果が返ってきたと仮定して導入を行いました。その際にごちらが本時の課題設定をするのではなく、体力テストの結果からどのような能力を伸ばしたいかと発問をし、生徒から学習課題を導き出すようにしました。

### ◆面接試験

面接官3名

2名は教員の方？1名は一般企業の方？のような印象を受けました。

質問内容は覚えていない範囲で以下の通りです。

両男

- ・ これまでに本気で叱られたことはあるか、それをどう受け止めているか。
- ・ 生徒を叱ることはできるか、叱ったことはあるか。
- ・ 部活動の意義は何だと思うか。

場面指導(個別)

・ あなたのクラスの生徒が訪問学校に来ていません。家庭訪問をしている想定で会話をして下さい。

場面指導(全体)

- ・ あなたは3学年の担任です。総合的な学習の時間で保育施設に行きます。その事前指導をして下さい。

### ◆面接試験対策

- とにかく情報を集めました。過去5年間に出题された問題を方々から集め、問題に対しての自分なりの答えを考えそれをノートにまとめていきました。場面指導に関しては他の先生方にご指導をいただきました。過去に出题された問題について場面指導の実演を数回行いアドバイスをいただきました。
- 場面指導は生徒から話を聴くこと、生徒が主体的に解決できるようにサポートすることを考えました。

### 4 採用されるまで

- 大学4年時の採用試験は不合格、講師登録をして運良く声をかけていただき、1年目は非常勤講師として働かせていただきました。常勤講師とは違い経済的にはかなり苦しくアルバイトをしながら生活をしていました。友人や同級生が正社員で働いている中、私はアルバイトをしながら非常勤...正直辛かったです。しかし教職への強い想いは変わることなく絶対に合格したいと思っていました。また、目の前にいる生徒のために頑張らなくてはと常に思っていました。
- 2年目からは縁あって中学校に勤務することになりました。非常勤とは異なり、様々な係や部活動も担当することになりますが、正規の先生方とほぼ同じ扱いになるので経済的にも安定し、より一層仕事に集中できるようになりました。中学校で勤務するうちに中学校ならではの魅力に気づき、3年目の本年度は、はじめて中学を受験することに決めました。

### 5 合格して思うこと

- 覚悟  
振り返ってみると3回目の試験までは覚悟が足りなかったと思います。倍率が高いことや、忙しいことを言い訳に十分な対策ができていなかったです。4回目の本年度は専門教養100点を目標に空き時間はひたすら勉強をしました。これだけやってダメなら仕方がないというまで対策をしました。
- 自分1人で勝ち取った合格ではない  
対策を行う上で本当に多くの方に関わっていただき面接練習や小論文指導をしていただきました。その中で自分自身の目指すものや考えが明確になり自信を持って試験に臨みました。実技もご指導いただければ合格していなかったと感じています。周りにいる方に積極的に頼ることいいかもしれません。
- 教職に対する想い  
現場で働かせていただく中でより教員として働きたいという気持ちが強くなりました。生徒の嬉しそうなお顔や達成感に満ちた顔を見る度にとても幸せな気分になり、やりがいを感じます。そのような経験が絶対に合格したいというモチベーションになりました。とにかく諦めないことが大切だと思います。

### 最後に

長野県の保健体育の先生になるための道のりは甘いものではないと感じていますが諦めなければ必ず夢は叶います。皆さんのことを応援しています。いつか一緒に働ける日を楽しみにしています。

# 民間企業の就職、転職活動について

山口 和良

## 自己紹介

長野県中野市出身。飯山高校 体育科から日本体育大学 体育学部 体育学科に指定校推薦にて2014年入学。学生時代は小学校1年生から野球を始め、高校、大学は硬式野球部に所属しておりました。大学2年時ヘルニアを患い8か月の治療をしましたが選手を断念し学生コーチに転身。大学4年時には明治神宮野球大会(全国大会)において本学としては、37年ぶりの全国制覇を経験。

(在学時取得免許 体育教諭「中学校、高等学校」柔道初段 相撲初段)

本年社会人4年目になります。

## 学生時代の就職活動

大学3年時就職について考えたときに私はなりたい職業が正直何もなかったです。漠然とまだ野球はプレーヤーとしてやりたいと考えておりました。そのんな中公務員になれば安泰という安易な考えと野球を続けたいという思いの中で警視庁に入り野球を続けたいと考えた。大学3年から日体大の公務員通信教育TACで部活をやりながら毎日3時間ほど勉強していました。半年間毎日勉強した成果もあり1次試験は合格しましたが、2次試験の面接の際に警察官になりたいという思いが伝わらず試験に落ちました。今考えると警視庁が求めていたのは野球選手ではなく警察官であった。公務員を目指している方に言えることは、1次試験は勉強すれば必ず受かります。2次試験は熱意がある人が合格すると思います。過去のスペック云々ではないと思います。その後も公務員試験を受けましたが悉く2次試験で不合格になりました。気がついたら大学4年の11月になっていました。4年時に硬式野球部は全国大会まで駒を進めていましたので引退してから民間企業の就職活動を開始しました。(この話をすると大卒の方々には驚かれます。部活を続けながらの就職活動は大変ですが、応援しております!)父が地元の工務店に勤めていた関係で取引のあった長野市で大手の某建材商社に内定をもらいました。内定を頂いたのは12月の末でした。土日祝休みで野球部があり、やりたい仕事も特には無かったので野球ができるというだけの理由で当時はとても満足していました。(日体大で部活経験者という事で他何社か受けましたが反応は抜群に良かったです。皆さん自信持ってください!新卒時点の話です)

## 新卒入社

2018年新卒にて入社し、設備資材を扱う部署へ配属となりました。(設備資材とは、キッチン、トイレ、シンク、配管材など水回りの商材です。)3か月研修を経て営業デビューいたしました。扱う商材は何万種類もありそれぞれのメーカーや商社から仕入れ設備会社へ販売するという仕事です。プライベートでは、地元の男子ソフトボールチームと会社の野球部、取引先の方が入っていた野球チームに入り3つ所属していました。土日は野球漬けの日々で楽しかったです。ただ、社会人は、お金を稼がなくてはなりません。どんな仕事でもお金を頂くという事はプロというわけです。当時まだ野球に対する熱が悪い意味で冷め

# 民間企業の就職、転職活動について

山口 和良

ておらず部活の気分が強かったのかもしれませんが。正直環境のせいもあったとは思いますが、仕事は全く楽しいと感じませんでした。そんなこんなで、2019年4月末に退職しました。

退職の要因は3つありました。1つ目、自分の考えを繁栄させてくれない会社、上司。以前の仕事は主にルート営業でした。営業を主とする社風の会社で数字を残さなければいけないと考え取引の薄かった会社や新規の顧客の開発をしたいと進言したが悉く意見は跳ね返され承認してもらえない環境だったという事が一つでした。

2つ目、野球に対する周りの理解度の低さ。学生時代野球一筋でやってきて当時野球熱が熱々でした。野球繋がりですべて新規開拓や得意先との関係づくりを行ってきて上司に「お前は野球しかネタがないのか」と常々言われてきました。確かに今考えるとそれしかネタはなかったです。私のいた部署では野球をやってきた人は一人もおらず理解が余りなかったです。※ほかの部署は野球部の上司や同僚が沢山いました。3つ目は上記と重複しますが、野球中心の考えが抜けていなかった。という事です。会社の野球部の大会が平日あると野球優先にしていました。私の部署の先輩にはそれがよく思っていなかったらしくいい顔をされなかったという事です。この時の私はまだまだ部活の感覚が抜けておらず、仕事を中心とした考えができていなかったと思います。今思うとやめた理由は環境要因もあったのですが仕事に対する熱もまだまだ甘かったのではないかと思います。新卒の1.2年は部活気分から社会人のマインドになれるかが、カギだと思います。

## 転職活動

新卒で入った会社を辞めた後は、全てをリセットするために野球やソフトボールといったチームも全て辞めました。今後40年は働くことがメインになるので一旦野球を取り払い仕事だけを考えることにしました。とはいうもののやりたい仕事は特には無かったし転職活動の際にも前社は長野県では優良企業だったという事もあり、「なぜ前の会社を辞めたのかわからない」と様々な企業の面接官に言われ、新卒の頃とは違い正直苦労しました。今思えば簡単に転職できていたらまた同じことを繰り返していたと思う。転職活動をしながら建設業の職人として屋根工事のアルバイトをしていた時に、屋根工事の元請である現在私が勤める会社の工事部長と出会いました。工事部長は私の働く姿勢と他の職人さんとのコミュニケーションの取り方、前職の経験、大学まで野球をやっていた事などを評価して頂き、「うちの会社で働かないか？」と声をかけられました。前職は営業職だったこともあり会社の業績を調べる癖がついていました。調べると業績も安定していたのであえて前職との商売敵でもあった現職で勝負しようと決意しました。

# 民間企業の就職、転職活動について

山口 和良

## 現在の会社について

私が現在勤める会社は、東証一部上場の綿半グループの建設事業を担っている綿半ソリューションズ(株)という会社です。入社したのは2019年10月です。現在は新型コロナウイルスの影響でテレビ会議やリモートワークが流行していますが、現職は既にITが整っており面接は1次面接はテレビ面接でした。この時点でかなり働き方に驚いたのですが、役員面接の際に東京本社に出向いた際にまた驚いたことがありました。働くデスクがフリーアドレスになっておりどんな場所で仕事をしていても良いという仕組みになっていました。また、出勤退勤は会社支給のアイフォーンで打刻が出来たり、フレックスタイムを設けられていて自由な働き方が出来る事にも驚きました。1社でしか働いたことがない人にとっては社会人の常識は働いている会社だけでしか学ぶことが出来ないと思うので今の会社の良さを体感することが出来ています。また入社して半年経ったころ人事の方と面談がありました。

「山口君的に足りないと思う事があれば教えて」と言われ私は中途社員であったことからCADの使い方がわからなかったり、建設業必須のすぐに取りれる資格を持っていなかったのもそのようなスキルを身につけたい。と話したらすぐに対応して頂き、研修などを受ける機会を設けていただきました。その他にも会社に対して意見を言える環境なので私にとっては主体性を持って働ける環境があり満足しています。逆に言われたことを忠実にこなすタイプの人にとっては自由が多い環境だと苦勞するのではないかなとも思います。

現在の職種は、屋根外壁の施工管理職です。ゼネコン(総合建設業)や商社、メーカー、職人との連絡調整を行っています。扱う商材は多岐にわたります。しかし以前は商社に勤めていたこともあり商材が違うだけで対処の仕方は経験済みなもので即戦力としてすぐに担当現場を任されています。人と話すことが得意な方なので大変ですが楽しく仕事をできています。

打ち合わせを重ね、ゼネコンや職人さん達に認められたり建物が完成した時の満足感もやりがいの一つです。

フレックスタイムとはいえ大変なことや覚えることも多いので苦勞も多いです。

## 補足

### 綿半グループの概略

2014年東証一部上場。 創業400年以上の歴史

綿半ホームエイドがある小売事業、建設事業(綿半ソリューションズ)、貿易事業(綿半トレーディング)共同仕入業の綿半パートナーズがある。

グループ内公募という制度があり、グループ会社へ出向や転籍することも可能です。

# 民間企業の就職、転職活動について

山口 和良

## まとめ

部活を一生懸命取り組んできたことは私にとっては今でも誇りに思えることです。しかし選手としてずっとスポーツを続けることが出来るのはほんの一握りだし、ケガで選手生命が終わってしまう人もいます。それでも指導者としてスポーツに携わりたいという人は指導者や先生になればいいと思います。同じような境遇の方がいたら伝えたいです。私は今でもこの仕事が天職かわかりません。学生ならもっとわからないと思います。日体大硬式野球部のOBで教員以外の道に進んだ先輩、同期、後輩の中で公務員から独立してパーソナルトレーニングジムを開業した

人もいますし、歩合制の営業で20代にしては考えられない額の年収を稼いでる人もいます。働き方や、人生はそれぞれです。私的にはアウトドアやスポーツが趣味なのでそこに当てる時間も大事にしたいと考えてます。今年からまた草野球に参加もします。(笑) 仕事が充実してきたので趣味も楽しみたいと思っています。

就活時点で大事なことは熱意だと思います。(公務員試験や転職での経験から感じました。) 最初から天職というのではないと思います。私自身野球は兄の影響で始め、気がついたらのめりこんでいましたし、今の仕事も一生懸命やる中で楽しさが見えてきました。自分の軸はお金なのか、やりたい事なのか、ワークライフバランスなのか見極めて思ったままに進めば良いと思います。熱意さえあれば若いうちはいくらでもやり直しが効くと思います。今しかできない経験を大切にして後悔のない学生生活を送ってください。これからのご活躍を期待しております。

何か相談したいことがありましたら、相談に乗ります。転職活動で企業研究や業界研究をしたので答えられる幅は割と広いと思います。

粗末な文ではありますが、最後まで文章を読んでいただき有難うございました。